



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月26日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <https://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橘 昇一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 阿南 友則
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3245-6510

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	62,542	4.0	36,242	11.3	39,564	11.2	28,653	4.1
2020年3月期第3四半期	60,116	8.8	32,552	14.2	35,571	11.7	27,525	10.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 31,324百万円 (5.4%) 2020年3月期第3四半期 29,717百万円 (26.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	322.13	
2020年3月期第3四半期	309.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	280,316	253,584	90.5	2,850.85
2020年3月期	264,596	238,392	90.1	2,680.06

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 253,584百万円 2020年3月期 238,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		70.00		90.00	160.00
2021年3月期		80.00			
2021年3月期(予想)				105.00	185.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 配当予想の修正については、本日(2021年1月26日)公表いたしました「2021年3月期の期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	4.4	45,300	4.8	49,300	7.1	35,200	0.3	395.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	99,600,000 株	2020年3月期	99,600,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	10,649,548 株	2020年3月期	10,649,548 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	88,950,452 株	2020年3月期3Q	88,950,484 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2020年4月23日発表の通期連結業績を修正していません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足情報	10
受注及び売上の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなかで、一部持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況にあります。また、断続的に感染が再拡大しており、感染拡大の防止策を講じつつ社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要もあり、先行きについても当面の間は不透明な状況が続くと見込まれます。

当情報サービス業界においては、働き方改革への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、製造業向け、流通業向け、サービス業向け、金融業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設の設備増強やセキュリティ・サービス強化、従業員のテレワーク環境整備など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高625億42百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益362億42百万円(同11.3%増)、経常利益は395億64百万円(同11.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は286億53百万円(同4.1%増)となりました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれますが、今後当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、当社クラウドソリューションの採用増加に伴い、サーバー機器等のハードウェア仕入販売の売上が減少したものの、付加価値の高い「OBIC7シリーズ」のシステム構築売上については、大手・中堅企業への新規顧客開拓が進み、堅調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は288億85百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益は160億65百万円(同1.9%増)となりました。

(B) システムサポート事業

主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェア及びハードウェアの「運用支援・保守サービス等」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は269億75百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益は190億83百万円(同23.4%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中小企業を中心に印刷サプライやオフィス家具等の販売がやや減少しました。

この結果、外部顧客に対する売上高は66億82百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益は10億93百万円(同17.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計残高については、前連結会計年度末比で157億20百万円増加し2,803億16百万円となりました。これは主に、現金及び預金が129億71百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計残高は5億27百万円増加し267億31百万円となりました。これは主に、未払消費税等が32億98百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計残高は、151億92百万円増加し2,535億84百万円となりました。これは主に、利益剰余金が125億21百万円増加したことによるものであります。結果、自己資本比率は90.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,425億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ、129億71百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、280億16百万円（前年同期比33.7%増）であります。これは主に税金等調整前四半期純利益が398億49百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が19億43百万円計上された一方で、持分法による投資利益が22億33百万円計上されたこと及び法人税等の支払が127億20百万円発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、75百万円（前年同期は57億13百万円の減少）であります。これは主に預り保証金の受入による収入が3億80百万円計上されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、151億21百万円（前年同期は131億20百万円の減少）であります。これは配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当第3四半期連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、2020年4月23日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,612	142,583
受取手形及び売掛金	10,110	11,305
商品及び製品	102	67
仕掛品	198	181
原材料及び貯蔵品	0	6
その他	1,138	957
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	141,160	155,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,628	26,791
土地	28,193	27,636
その他(純額)	2,026	2,178
有形固定資産合計	57,847	56,606
無形固定資産		
その他	122	114
無形固定資産合計	122	114
投資その他の資産		
投資有価証券	60,501	64,320
その他	4,968	4,177
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	65,465	68,494
固定資産合計	123,435	125,215
資産合計	264,596	280,316

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,708	3,559
未払法人税等	7,393	5,207
賞与引当金	2,372	1,336
その他	4,970	8,479
流動負債合計	18,444	18,582
固定負債		
退職給付に係る負債	5,942	5,982
資産除去債務	156	156
その他	1,659	2,009
固定負債合計	7,758	8,149
負債合計	26,203	26,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	218,159	230,680
自己株式	△22,140	△22,140
株主資本合計	234,728	247,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,177	6,981
土地再評価差額金	△1,705	△694
退職給付に係る調整累計額	192	48
その他の包括利益累計額合計	3,663	6,335
純資産合計	238,392	253,584
負債純資産合計	264,596	280,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	60,116	62,542
売上原価	18,025	16,973
売上総利益	42,091	45,569
販売費及び一般管理費	9,538	9,327
営業利益	32,552	36,242
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	553	556
投資有価証券売却益	—	573
持分法による投資利益	2,513	2,233
受取賃貸料	2	880
その他	43	54
営業外収益合計	3,116	4,299
営業外費用		
賃貸費用	97	977
その他	0	0
営業外費用合計	97	977
経常利益	35,571	39,564
特別利益		
償却債権取立益	2,498	—
固定資産売却益	1	288
特別利益合計	2,499	288
特別損失		
償却債権取立費用	500	—
投資有価証券評価損	73	—
固定資産売却損	—	1
その他	0	1
特別損失合計	574	3
税金等調整前四半期純利益	37,497	39,849
法人税、住民税及び事業税	9,469	10,756
法人税等調整額	502	439
法人税等合計	9,971	11,196
四半期純利益	27,525	28,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,525	28,653

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	27,525	28,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,417	1,011
土地再評価差額金	—	1,010
退職給付に係る調整額	49	△152
持分法適用会社に対する持分相当額	725	801
その他の包括利益合計	2,192	2,671
四半期包括利益	29,717	31,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,717	31,324
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	37,497	39,849
減価償却費	484	1,618
持分法による投資損益 (△は益)	△2,513	△2,233
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△573
投資有価証券評価損益 (△は益)	73	—
償却債権取立益	△2,498	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,036	△1,036
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100	△116
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	38	△180
受取利息及び受取配当金	△556	△558
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△287
売上債権の増減額 (△は増加)	△136	△1,195
たな卸資産の増減額 (△は増加)	76	45
仕入債務の増減額 (△は減少)	△118	△148
その他	598	3,609
小計	31,809	38,794
利息及び配当金の受取額	1,923	1,943
法人税等の支払額	△12,785	△12,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,947	28,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,406	△990
有形固定資産の売却による収入	3	845
無形固定資産の取得による支出	△33	△23
投資有価証券の取得による支出	△1	△3,737
投資有価証券の売却による収入	200	3,600
償却債権の回収による収入	2,498	—
その他	26	381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,713	75
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△13,120	△15,121
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,120	△15,121
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,113	12,971
現金及び現金同等物の期首残高	119,972	129,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	122,085	142,583

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	29,806	47.0	28,847	43.5	△959
システムサポート事業	26,381	41.7	30,649	46.3	4,267
オフィスオートメーション事業	7,172	11.3	6,781	10.2	△390
合 計	63,360	100.0	66,278	100.0	2,917

②売上実績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	29,911	49.7	28,885	46.2	△1,026
システムサポート事業	23,003	38.3	26,975	43.1	3,971
オフィスオートメーション事業	7,201	12.0	6,682	10.7	△519
合 計	60,116	100.0	62,542	100.0	2,426

以上